

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																			
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
																								
人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・経営トップより差別が起こらぬように社員入社時に自ら訓示を行う。また、各職長も同様にマネジメントとして社員に実践している。						5.1					8.5		10.2					16.1		
		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメント禁止については社内全体会議で周知を行っている。【予定】就業規則の規定に設ける。						5.1						8.5						16.1		
		【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・過度な残業や休日出勤がある社員は職長が確認し、適正な勤務に戻す調整を行っている。・一般事業主行動計画を策定している												8.5								
		【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	・直接的な雇用はないが、下請けなどの外国人労働者に対して差別、人権侵害がないよう関連部署の職長から社員に徹底させている。			4.4									8.7		10.2						
		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・工事現場ではリスクマネジメント、安全パ/Rロール実施・毎月の全体会議で安全衛生教育も実施している・安全衛生年間計画書を労働基準監督署に提出している			3									8								
		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・産業医に依頼、相談窓口を設けている【予定】毎年のストレスチェックの実施			3																	
		【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・本社1階は車いす対応のバリアフリーになっている・定年退職後も希望雇用できる制度をとっている					5.1							8.5		10.2						
		【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・資格取得に関して会社で助成を行っている・新人社員研修、外部機関のセミナー、CPDS・CPD取得のためのセミナーなど積極的に社員参加させている			4	5.5								8	9							
		【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	全員社員として雇用している					5.5							8.5		10.2						
		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ				3									8								
	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・産業廃棄物処理計画実施状況報告書を毎年提出・産業廃棄物収集運搬許可を取得し、毎年実績を報告している。													11.6	12.4		14.1			
			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・エコアクション21に則り、エネルギー使用量、及び温室効果ガス排出量を記録している												7.3			13				
			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・エコアクション21に則り、温室効果ガス排出量の削減に取り組んでいる												7.2			12.4	13.3			
			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	・法令遵守のもと、適正な使用を行っている・エコアクション21に則り、有害物質の法令遵守も監視している			3.9				6.3							11.6	12.4				

カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・グリーン購入など、エコアクション21に取り組みとして実践している						6.6							15				
16		【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・社屋・工事現場で廃棄物の分別を徹底し、リサイクル可能なものは再生業者に託している								12.5		14.1							
17		【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ							6.4											
18	環境	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9		6	7				12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ										12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ							7.2					13						
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ											12.2	13	14	15				
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	・汚職・贈収賄を就業規則の制裁に設け、入社時に徹底周知している。															16	16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	・建設業法、独禁法に則り業務を遂行している。・不正競争行為に関与しない徹底教育された者のみ営業業務につかせている。																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	・知的財産を管理し、保護に取り組んでいる							8.2										
25	公正な事業慣行	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	・個人情報が必要とする書類・業務の場合、通知する内容を本人に確認し同意を得て使用する。・個人情報を含む書類を保管する場合、施錠できる場所限定している。										9						16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ					5			8			10	12	13	14	15	16	17	
28		【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】2025年度を目途に作成・公表予定			3							8	9	10				17	

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																								
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
29		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	安全性が確保できている製品(工事資材)が製品の規格承認の書類の提出を依頼、場合により安全データシート(SDS)の提出も依頼する。			3,9							12,4															
30		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	顧客のクレーム対応など、品質を保证する部門を構築している。・現場引き渡しの前には社内にて規格品質等に問題ないか確認 検査を行っている										9															
31		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ							6								12	13	14	15								
32		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17								
33	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・工事現場の施工前には地元住民とコミュニケーションを図りその意見を反映させ施工を行っている。						4				9		11	12			14	15								
34		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ							4						11					14	15							
35		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外販)している	チャレンジ											8	9		11	12	13										
36		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念のもと環境・健康など取り組み毎に経営方針及び経営目標を立て、掲示・告知している。										8	9													17	
37		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・社内訓、社内全体会議にて変化する法規制を学び、社外の法令セミナー研修の参加、新入社員研修での法令遵守の教育を行っている。																								16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・担当部署を設け、専任者を置いている。																								16	
39	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	本・工事現場施工前には行政、地域住民と充分なコミュニケーションを図り、その意見を反映して施工に取り組む。																								16	17
40		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ																									16	
41		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ																										16
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ													9		11										16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ													8	9												17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認定制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)

○ この「要件2」は、ISO26000(※1)、RBA (Responsible Business Alliance) (※2) 行動規範等を参考に、非財務情報 (SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項) について整理し作成
 ○ 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**赤字**、間接的(結果として)に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
 ○ 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 ※1…組織の社会的責任に関する国際規格 ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持つていることを確認するための規定